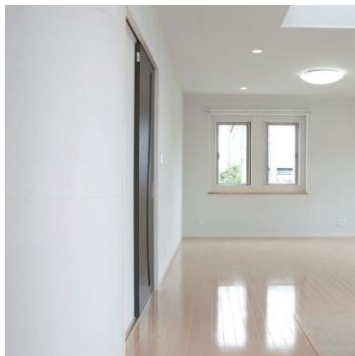


# 「高機能建材による室内空気質改善の環境影響評価」

評価実施者：トステム株式会社 環境室 大場 寛之

## ● 評価の目的と製品の特徴

- ・ 内装材の各ライフステージにおける影響評価
- ・ ホルムアルデヒド吸着分解(CO<sub>2</sub>排出)の評価
- ・ リサイクル効果とその可能性

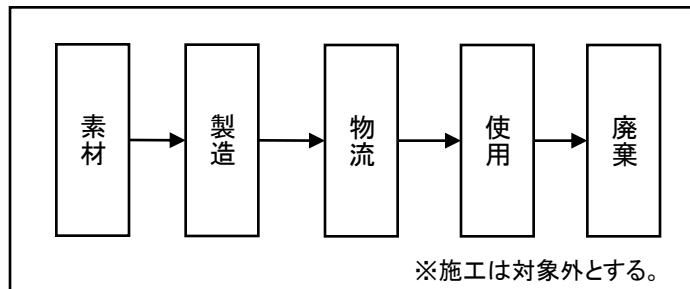


## 内装材『モイス(MOISS)』

- ・ 土壁や木のような調湿機能と消臭機能
- ・ パーミキュライトによる有害物質の吸着分解
- ・ クロス貼り仕上げ不要のため接着レス
- ・ 天然素材を主成分とし、リサイクル可能

## ● 機能単位とシステム境界

機能単位 : 910×1820×9.5mm×6枚、8年間使用  
システム境界 : 素材、製造、物流、使用、廃棄まで



## ● 調査方法

<インベントリ分析>

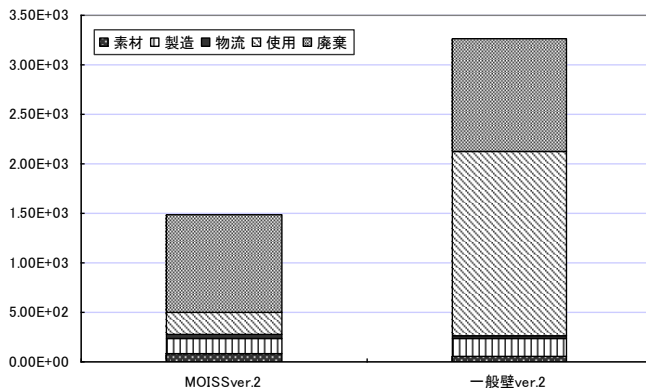
- ・ フォアグラウンドデータ: ヒアリング、工業会データ
- ・ バックグラウンドデータ: JEMAI-LCA Pro、LCA日本フォーラムDB、工業会データ

<インパクト評価>

- ・ LIME2

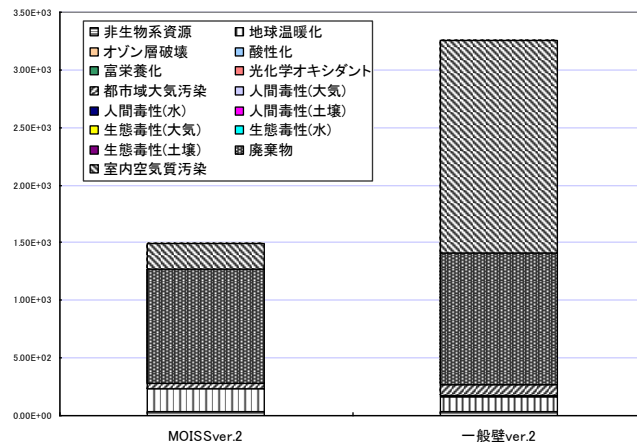
## ● 評価結果

【統合化結果(ライフステージ別)】



- ・ 使用ステージの影響が大きい。
- ・ 使用のほか、廃棄、製造、素材、物流の順。

【統合化結果(カテゴリー別)】



- ・ 室内空気質改善効果の影響が大きい。
- ・ 廃棄物ほか、都市域大気汚染、地球温暖化が影響大。

モイスによるホルムアルデヒド吸着・分解の効果が大きい。  
廃棄物の環境影響が大きく、リサイクルによる効果が見込める。

本評価の限界: 吸着・分解効果は性能試験値より換算、副産石膏の素材プロセスは除外、解体後すべて産業廃棄物とした